

## ■■ 平成30年9月2日（日） ■■

### ～備えあれば憂いなし、第4分区で防災訓練～

9月2日、栄東連合町内会第4分区で防災訓練を実施しました。当日午前10時半に会場の道営栄町団地の広場に5町内会と東消防団栄分団の合計77名が勢ぞろい。五十嵐力分区長（栄町町内会長）の「最近、大地震や豪雨災害が繰り返し発生しています。地区の安全を守るため、しっかり訓練をしましょう」という挨拶から始まりました。

参加者は2組に分かれ、広場では防災資器材の使い方や消火器訓練を、団地の集会室では、AEDや心臓マッサージの訓練を行いました。訓練に臨む参加者の表情は真剣そのものです。「消火器がないとき、天ぷら火災の消火に有効な方法はないか」「心臓マッサージの強さはどれぐらいがよいのか」など、指導にあたった消防署員に対し活発に質問をしていました。

「備えあれば憂いなし」と言われます。決して無理をする必要はありませんが、訓練を繰り返すことで自然に身に着けることができます。

誰もが「いざっ」というときに迅速に対応できるよう機会があれば訓練に参加されるようお願いいたします。



## ■■ 平成30年9月6日（木） ■■

### ～北海道胆振東部地震で避難所運営を支援～

9月6日の北海道胆振東部地震により、大きな被害が発生いたしました。被災された方には謹んでお見舞い申し上げます。

今回の地震では、地区内に3か所の避難所（栄町中学校、栄小学校、栄東小学校）が開設され、6日、7日の両日3か所で合計約310名の方が避難されました。「部屋に家財が散乱して自宅にいられない」、「一人住まいで余震が怖い」などの様々な不安を抱えた状況でした。

避難所には2名の市職員が派遣されていましたが、栄東連合町内会ではこうした方々の不安を和らげ、円滑な運営を手助けするため、各所に役員や単位町内会の方々数名をお願いして支援を行いました。皆さんは初めての経験でしたが、親身になって避難された方をサポートしていました。地震災害の怖さを再認識した出来事で二度と起こってほしくない災害ですが、連合町内会では、この経験を生かしてなお一層防災活動に取り組んでまいります。



## ■■ 平成30年9月11日（火）～14日（金）■■

### ～地域力を結集、地震に負けず栄東小の見守りを実施～

栄東地区では、北海道胆振東部地震により東15丁目屯田通で数多くの陥没があり、地下鉄栄町駅より北側は、全面通行止めの箇所もありました。特に栄東小学校（小柳俊夫校長）は、この道路を横断して通学するお子さんも多いため、安全に登下校させることが喫緊の課題となりました。

栄東連合町内会（永渕宏会長）では、同校からの要請を受けて、地域の交通安全運動推進委員会、交通安全指導員、交通安全母の会、地域安全推進員などに呼びかけて学校が再開した9月11日から登下校時の安全指導（見守り）を実施しました。

地域では、初日の早朝から30人以上の方々が協力し、子どもたちが安心して登下校できるように見守っていました。東15丁目屯田通を迂回するダンプカーや通勤などの乗用車が生活道路に入り込んで危険な状態でしたが、皆さんの積極的な協力により、安全に登下校をすることができました。大きな地震の直後で急な呼びかけにもかかわらず、大勢の方々に参加していただき、栄東地区の地域力を象徴する出来事と言えましょう。



## ■■ 平成30年9月16日（日）■■

### ～プランタを撤収。来年に向けて土壌づくりー花いっぱい事業～

9月16日、栄東連合町内会の役員が中心になって、地下鉄栄町周辺の歩道を行きかう人に潤いを与えてくれた花いっぱい事業のプランタ130個余りを撤去しました。

回収したプランタは、阿知良茂さん（東交通安全協会栄東支部長）のお宅で、枯れた花や根を抜いてから丁寧にふるいをかけ、牛ふんや配合肥料を混ぜ合わせ、来年の花植えのために土壌づくりを行いました。この土壌は、木で囲った室で熟成し、また来春の出番を待つこととなります。

平成18年から続く花いっぱい運動ですが、土壌づくりに場所や道具、そしてノウハウをお貸しいただいた阿知良さんや6月2日のプランタづくりに参加いただいた地域の方々、そして3か月にわたって丹念に花の手入れや水やりをしていただいた皆さんのおかげで今年度の事業を無事終了できました。紙面をお借りして皆様にご挨拶申し上げます。

